

その他の活動報告など

これら以外にも各種研修で学んでいます

不適正支給問題とコンプライアンス

「ご存じの方もいらっしゃると思いますが、鈴鹿市では先の生活保護費不適正支給事件に関連しての取り組みとして、庁内でのコンプライアンス推進計画を策定、11月1日にキックオフのイベントを「庁内」向けに行いました。その様子を見ていたのですが、そもそもコンプライアンス（法令順守など）と対訳）はなんのために行うのかということが見えませんでした。



管理職以上の職員さんが一堂に集合
決意文を若手職員が読み上げています

行政の顧客は？

本来は「市民からの信頼回復」や「市民の行政への満足度向上」などにつながるようにコンプライアンスはあるべきで、内向きの姿勢で義務的にするようなことではないと考えます。しかし、見ていてそのような感じは受けませんでした。

補助金見直しは？

不適正支給に関わる国庫返還金ですが、職員共済組合からの寄付で不足を賄うということ

が報告されました。組合へは市から補助金が出されており、職員も掛け金を払っているとはい

え、問題があると思います。新年度予算でこの点がどのようになるのか、やはり補助金は削減すべきです。そこで、決算議案の討論の際に、私はその点を新年度予算でカットすべきと指摘しました。その点が来年度予算にどのように反映されているのか、それともいないのか、チェックをしたいと思っています。

地域医療を応援する会

継続的に毎月1回開かれている勉強会と、地域での応援する会の開催などに取り組んでいます。先だっては、鈴鹿医療科学大学のキャンパスで行われた玉垣地区の地域医療を応援する会でスタッフをしました。

地域医療の重要性

鈴鹿市は救急医療をはじめとして、地域医療への取り組みに力を入れています。他の地域と同様に決して安心できる状況とはいえませんが、地域で安心して暮らすためにも医療は非常に重要で、各地で様々な取組が行われています。しかし、医療をめぐる問題には即効性のある取り組みはありません。

市民、医療関係者、行政、議会が、それぞれの役割に応じた取り組みを行うことが求められます。そこから生まれる熱意のある取り組みは、魅力的な地域づくりにつながります。丹波市

での県立柏原病院の小児科を守る会の活動や、延岡市での地域医療への取り組みなどは、鈴鹿市にとって示唆するもの、学ぶことがたくさんあります。

小児夜間救急を考える

中央病院での夜10時以降の夜間小児救急の受け入れが、現在も止まっています。その時間帯は基本的に、津にある三重病院に搬送されることになっていますが万全とはいえません。鈴鹿で小児夜間救急が再開できるような、地域医療問題へ継続して取り組みたいと思います。

農林水産業を考える会

会ではこれまでの活動を下地として、地産地消条例の策定を現在行っています。叩き台となる条例文をもとに、それぞれの議員がアンケートを配布し、回収した意見をもとに、さらに条例文を精査するなど、成立に向けた動きをしています。

中にはもちろん厳しいご意見もありましたが、地産地消を推進することで、食育との連携や協議会を設置し地域での農林水産業の活性化につながるような取り組みをする機関を設置することなどを盛り込んでいます。

中学校での給食実施についての答申が出るなど、食育と関連とした動きはさらに動きを増す様相があります。

条例そのものはまだこの先、パブリックコメントの実施など課題はありますが、内容はもちろん成立までの過程も含めて、市民にプラスの大きい条例になるよう私も取り組みたいと思います。

バイオ燃料の取り組み

2年ほど前に、一般質問でバイオディーゼルへの取り組みを取り上げました。そのことは、過去の報告でもお伝えさせていただいていますが、先だって、それに関連する事業が鈴鹿の中で本格的に動き出しました。

市内小学校への給食配送などを業務としている三重執鬼（みえとるき）さんが、市内住吉町にバイオディーゼル精製プラントを導入し、市内学校給食廃油を回収してバイオ燃料化、その燃料で給食の配送を行うという取り組みです。

一般質問で取り上げたということから、バイオ燃料の取り組みについて、市との意見交換など、私も微力ながらお手伝いをさせていただいています。



精製に水を使わないBDFプラント
農と連携した取り組みの展開に期待です

現在、三重執鬼さんではこの取り組みの中で、稲生地区の方とヒマワリからの製油の取り組みで連携されたりしています。

先だってのヒマワリ祭りでも実演されていました。

今後は本社のある地子町自治会と協力しながら、家庭廃食油の回収にも取り組む予定があるとのこと、地域と連携した事業に注目です。

先送りにされ、何もしない『ことなかれの体質』ができて上がっていく」のである。」という一節を引用しました。

そのときは、市行政に対してと考えていたのですが、これらのことは、私たちにも当てはまるのではないかと思います。なるべく失敗を少なくすることも大切とは思いますが、時には迅速に判断・行動すべき時があると思います。

踏む。この間に三年くらいかかり、いつの間にか部屋中がゴキブリだらけになって、誰も退治することができなくなる。これは業績不振の責任を問われて九十二年に解任された、ゼネラルモーターズ会長のステンペルのセリフである。」という一節と、「前例のないことは、失敗した時に責任を問われるからしない。やってみなければ分からないことはしない。次第に問題は

9月一般質問冒頭で、PHPビジネス新書のドラッカーの実践経営哲学から「会社が小さかった時には、ゴキブリが出たらその場でみんなで叩きつぶしたが、会社が大きくなると、『ゴキブリとはどういう生物かを研究し調査する』『ゴキブリを退治するためにどういう方法があるか、方法論を比較検討する』『ゴキブリ退治のために実行委員会を設ける』という手順を踏

おしらせ 市民と議会の条例づくり交流会議in東海 もっと使おう！議会を

現在、11月27日に刈谷で開催予定の「市民と議会の条例づくり交流会議in東海」の実行委員として活動しています。この会議に関わることになったのは、同じように今までの議会のあり方に疑問を持つこの東海地域の議員の方々と、いろいろ勉強会を通じて知り合ったことからです。

下の写真は打合せの様子です。市民活動の方、東海地区の市議などが集まり、課題点や論点の整理を行いました。それぞれの議会での問題意識を持つ議員は少なくても、横につながり行動を起こそうという意識を感じます。

「議会が変われば まちが変わる」

議会が変わるには、議会と市民の意見交換会の実施などを、議会の当然の取り組みとすることが必要と考えています。

鈴鹿市議会での活動も4年目、市民と議会の関係のについて考えることも多くなりました。できれば次の機会にもつなげ、鈴鹿市を鈴鹿市議会をなんとかして変えたい。そう思っています。

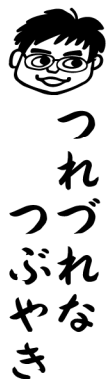
市民と議会の条例づくり交流会議in東海

日時：11月27日（土）13時～17時30分
会場：刈谷市産業振興センター（JR刈谷駅すぐ）
参加費：議員 4,000円、一般 1,000円
問い合わせ：電話 03-3234-3844

ホームページ：<http://www.citizens-i.org/jourei/>
※詳しい内容と申し込みについては上記のホームページをご覧ください



メンバーから出た意見をまとめる作業中



つれづれにやな

市民・行政・議会、みんなで見つけよう

地域の課題解決への「山の登り方」

市民と議員の条例づくり交流会議 in 東海 2010

地方分権・地域振興、国での動きがあります。でも、国から地方に任せれば、何もかもうまくいく。町や市でできるほど、私たちの自治体は、議会ができています。でも、議会ができていても、何でしよう。そして市民は、選挙のときだけ議会に意見を言わなければならないのでしょうか？いえ、自分たちのまちのこと、もっと関わる方法があるのです。

「市民が議会を「使って」自分たちのまちをつくる」には、みんなが「まち」に関心を持っています。「形だけの市民の代表の集まり」から「市民の考えを代表して、まちを治める」人、ひとりひとりの市民が議員が「まち」を治めるために、議会も変わります。市民も議員もいっしょになって、市民のまちをつくるための第一歩を、ここから始めましょう。

2010年
11月27日(土) 13時～17時30分
刈谷市産業振興センター
(愛知県刈谷市相生町1丁目1-6)
JR刈谷駅徒歩3分
参加費：議員4,000円、市民1,000円
学生・無料(ボランティアスタッフとして協力ください)
※交流会費3,000円(別添)

【プログラム】
全体会「民主主義のイロハのイー市町村議会の必要」
江原啓郎 山梨学院大学教授
「議会って何？基本のキ」～議会改革の今とこれから
廣瀬克典 法政大学教授
第一分科会「議会を使って考える～市民が作った「議会のトリセツ」(取説説明書)」
第二分科会「自分たちで考えるまちの未来～市民マニエリストと議会討論、報告討論と議会の役割」西寺隆彦 山梨学院大学教授 元刈谷市長
【オプショナルツアー11/28開催】
名古屋市の「市民生活協賛」見学ツアーを行います。足跡4年にわたり、延べ1000人にもなる協賛関係者、地域の人、議会関係者と議論を重ねてきた「形骸化しない市民」です。参加費は無料です。
要申込：要領のFAX申込用紙もしくは下記メールアドレスまでお申し込みください。(詳しくは議案をごらんください)
【主催】市民と議員の条例づくり交流会議 in 東海
『東海地区で考える！市民と議員の条例づくり交流会議 in 東海2010』実行委員会
市民と議員の条例づくり交流会議 in 東海2010 実行委員会
【後援】自治体協議会、公益社団法人日本青年会議所、自治体議会改革フォーラム、日本青年会議所、愛知ブロック協議会 他
【連絡先】 03-3234-3844
[e-mail] sgk2010tokai@gmail.com

東海から変える！
市民と議員のチカラ
もっと使おう！議会を

市民と議員の
条例づくり交流会議
in 東海2010
もっと使おう！
議会を